

2014年5月日本建築学会東北支部役員会議事録（案）

日時：2014年5月17日（土） 13:35～15:00

場所：日本建築学会東北支部

出席者：若井、源栄、後藤、小地沢、薛、速水、有川、パリーク、佐藤（慎）、渡辺、小林、手島、許、日比野、八十川、川村、笹渕、佐藤（大）、クアドラ、苅谷、宮腰、伊藤（事務局）、瀧（事務局）

1. 新旧の役員の紹介並びに役割分担について

- ・若井支部長が挨拶を行い、常議員会の位置付けについて説明を行った。
- ・新旧役員が【資料1】に基づいて自己紹介を行った。

2. 年間行事予定と会議形式について

- ・事務局が【資料2】に基づいて年間会議予定、役割分担、会議形式について説明を行った。
- ・Skypeの使用に際しては、音声が混雑しないようマイクのON/OFFの切替えを多用するよう提案があった。

3. 前回議事録の確認

- ・薛常議員が4月総務会議の会議録【資料3】を読み上げた。誤字および記載漏れの指摘を受け、修正を行い、内容を確認したところ、満場異議がなかった。

4. 報告事項

1) 5月理事会報告

- ・若井支部長が【資料4】に基づいて、5月理事会の議事の要点の説明を行った。
- ・理事会では、大会には例年並みの6700編余りの投稿があったことが報告された。
- ・宮城県教育委員会（文化庁予算）から東北支部に依頼のあった研究野受託について理事会に上程したところ、承認されたことが報告された。このことに関連して、事務局から下記について報告があった。
 - 間接経費15%（30万円余り）が東北支部に入るようになった。
 - 委託費は業務完了後の2月以降に入金となるので、その間の費用は支部が立て替えることとなった。
 - 立替払いに際しては、前払金を計上して処理する方針となった。
- ・終身正会員制度の運用に関連して、終身まで残り数年の会員については、一括払込みやそれに伴う割引制度を構築してはどうかとの議論が理事会であり、継続審議となった。

2) 総会進行の確認

- ・事務局が【資料5】に基づいて説明を行い、運営について確認した。
- ・議事録署名人について立候補がない場合は、慣例に従って新常議員総務企画担当の有川常議員とパリーク常議員をお願いすることとした。
- ・事業や財務については本部の総会で承認されるものであるため、支部総会では報告事項として扱うことについて確認した。

3) みちのくの風2014福島について（業務確認）

- ・速水常議員が【資料6】に基づいて説明を行った。担当が未決部分については個別に依頼する旨、説明があった。
- ・会長懇談会の同席者について、別途出席確認を行うこととした。
- ・懇親会に学生が出席できるよう学生会費を2000円と設定したので、各大学から参加してもらえるよう告知依頼があった。
- ・懇親会終了後、マイクロバス1便の運航がある旨、報告があった。
- ・6階の会場設営は18時以降しか認められないため、パネル展示作業の集合時間を15時に変更する旨の報告があり、前日入りできる常議員への設営協力依頼があった。
- ・事務局から会長のスケジュールの説明があり、会長が東京から事務局同行で会場入りし、日帰

りで仙台に向かうことについて確認した。

- ・会長の郡山市内見学は見送ることについて、若井支部長から説明があった。
- 4) 2014 年度災害委員会支部企画書の提出報告
 - ・事務局が【資料 7】に基づいて、源栄次期支部長から申請があった旨について報告があった。
 - ・源栄次期支部長から災害報告書の web 版を作る方針について説明があった。
- 5) (欠番)
- 6) 国連防災世界会議の進捗状況について
 - ・笹渕常議員が【資料 8】に基づいて、会議の全体像や準備進捗状況について説明を行った。
- 7) 第 35 回東北建築賞募集要項について
 - ・事務局が【配布資料 (チラシ)】に基づいて説明を行った。次期担当については小林常議員にお願いすることについて報告があった。審査員については調整中である。
- 8) その他
 - ・事務局が柴田先生より 20 万円のご寄附があったことについて報告した。
 - ・柴田先生にも災害報告書の電子化についてご期待されているので、有効に活用する方針について確認した。

5. 審議事項

- 1) 2014 年度支部代行者について
 - ・若井支部長が支部代行者設置の位置付けについて説明を行い、源栄次期支部長が後藤常議員を指名し、満場異議なく選任された。
- 2) 学術推進委員会への支部代表委員選出について
 - ・事務局が【資料 9】に基づいて 1 名推挙する必要があることについて説明を行った。
 - ・若井支部長が有川常議員を指名し、満場異議なく選任された。
- 3) 柴田先生大賞受賞記念講演会・祝賀会について
 - ・源栄次期支部長が【資料 10】に基づいて 8 月 2 日に向けて開催準備を進めていることについて説明を行った。
 - ・事務局が講演会場の手配や資料の作成に 20 万円程度の支出が見込まれていることについて説明を行い、支出について満場異議なく了承された。
- 4) 2014 年度建築文化週間事業について
 - ・事務局が【資料 11】に基づいて説明を行い、10 月中に実施できる市民向け事業について予算 10 万円での検討を求めたところ、源栄次期支部長が企画した災害調査報告に関するシンポジウムを建築文化週間事業として開催することを提案し、満場異議なく了承された。
- 5) その他
 - ・その他の意見がなく、審議を終えた。

今後の予定

- ・みちのくの風 2014 福島 6/21 (土), 22 (日) 日本大学工学部 70 号館にて
- ・6 月総務会 開催予定なし
- ・7 月支部役員会 7 月中に開催 (後日日程調整)

文責：小地沢